科目名		担当教員	
現代の精神保健の課題と支援Ⅱ		西尾　雅明	
科目コード	科目単位	履修方法	配当年次
CQ3181	2	R	2年以上
履修登録条件	「現代の精神保健の課題と支援Ⅰ」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録する方のみが履修登録できます。		
生成AI利用レベル	レポート　：　C	試験　：　C	

科目の概要

■科目の内容

心身の健康の維持増進は社会全体で取り組むべき重要な課題となっており、社会からソーシャルワーカーに期待される役割や果たすべき責任はますます大きくなっています。

精神保健の視点から見た現代社会の課題とアプローチ、精神保健に関する発生予防と対策、地域精神保健に関する偏見・差別等の課題、精神保健に関する専門職種と国、都道府県、市町村、団体等の役割および連携を学びます。その学びを通じて、現代日本における精神保健の課題と支援について理解することを目的とします。

■到達目標

1）精神保健の視点から見た現代社会の課題とアプローチについて説明できる。
2）精神保健に関する発生予防と対策について説明できる。
3）地域精神保健に関する偏見・差別等の課題について説明できる。
4）精神保健に関する専門職種と国、都道府県、市町村、団体等の役割および連携について説明できる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「人と社会の理解力」「倫理的実践力」「開発・創造力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価 20%＋科目修了試験 80%

■教科書・参考図書

【教科書】（「現代の精神保健の課題と支援Ⅰ」と共通）

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新精神保健福祉士養成講座［専門科目］2 現代の精神保健の課題と支援　第2版』中央法規出版、2026年

※「現代の精神保健の課題と支援Ⅰ」で配本のため、この科目での教科書配本はありません。

（最近の教科書変更時期）2026年4月

【参考図書】

1）日本公衆衛生協会『我が国の精神保健福祉平成29年度版（精神保健福祉ハンドブック）』日本公衆衛生協会、2018年

2）柏木昭、荒田寛、佐々木敏明編集『第４版これからの精神保健福祉ー精神保健福祉士ガイドブック』へるす出版、2009 年

レポート学習

■在宅学習 15 のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	災害時の精神保健(第５章第１節・第６章第 10 節)	災害被災者の精神保健、災害時の精神保健に対する対策を理解する。	大規模災害時におけるメンタルヘルスの課題、災害支援の実践活動、我が国の現状、被災後に起きるストレス障害とその対策、災害被災者に対する支援と具体的な対策について考察する。
2	犯罪・違法行為と精神保健(第５章第２節・第９節)	犯罪被害者等の支援、反復違法行為と精神保健を理解する。	犯罪被害の現状、犯罪被害と PTSD、犯罪被害者支援の現状と課題、違法行為と精神障害、違法行為の実際、医療と司法との連携、違法行為を繰り返す人への支援について考察する。
3	自殺対策(第５章第３節・第６章第５節)	自殺予防、うつ病と自殺防止対策を理解する。	自殺の現状と課題、日本における自殺対策の経緯、自殺対策のこれから、自殺とうつ病、自殺のリスクを抱えた人への介入、個別支援とケースマネジメントについて考察する。
4	身体疾患の精神保健(第５章第４節)	身体疾患に伴う精神保健を理解する。	身体疾患に伴う精神症状、身体疾患に伴う精神症状の実際、身体疾患に伴う精神保健の課題について考察する。
5	貧困問題と精神保健(第５章第５節)	貧困問題と精神保健を理解する。	我が国の貧困問題の現状、貧困の基本問題、貧困問題と精神障害者、貧困問題とかかわる精神保健福祉士が問われる課題について考察する。
6	孤立・ひきこもりと精神保健(第５章第６節・第６章第９節)	社会的孤立、社会的ひきもりに対する対策を理解する。	社会的孤立の多様な実態、地域に潜在化する社会的孤立、その人の文脈を大切にすること、ひきこもりに関する諸施策、これまでの課題とこれからの支援について考察する。
7	マイノリティと精神保健(第５章第７節・第８節)	性的マイノリティと精神保健、多文化に接すること生じる精神保健上の問題を理解する。	セクシュアリティの構成要素、LGBT と性別違和、精神保健上の基本的心得、多様なセクシュアリティへの支援、日本に暮らす外国人の増加、異文化ストレス、多文化社会における精神保健上の課題について考察する。
8	高齢者の精神保健(第５章第 10 節・第６章第７節)	高齢者と精神保健、認知高齢者に対する対策を理解する。	日本における高齢者の状況、高齢者にかかわる諸問題、認知症の疫学と予防、認知症の支援について考察する。
9	精神保健と予防(第６章第１節・第４節)	精神保健における予防の考え方、ギャンブル等依存対策を理解する。	精神保健と予防、メンタルヘルスリテラシー、「ギャンブル依存症」と「ギャンブル等依存症」、相談・治療・回復支援の各機関と望ましい対応、ギャンブル等依存症にかかわる施策と対策の推進体制について考察する。

10	依存症と精神保健(第６章第２節・第３節)	アルコール関連問題に対する対策、薬物依存対策を理解する。	アルコール関連問題、アルコール依存症、アルコール関連問題の対策と現状、期待される精神保健福祉士の役割、薬物依存の実態、薬物依存症の治療と対策について考察する。
11	子育て・発達障害と精神保健(第６章第６節･第８節)	子育て支援と暴力、虐待予防、発達障害者に対する対策を理解する。	我が国の母子保健施策、子育て世代包括支援センター、子育てに関する組織活動、児童虐待の予防・対策、発達障害の概要、ライフステージと生活場面における発達障害の特徴と支援、発達障害児者支援と精神保健福祉士について考察する。
12	地域精神保健(第７章第１節・第２節)	関連法規、精神保健にかかわる人材育成を理解する。	地域精神保健の関連法規、精神保健にかかわる人材育成について考察する。
13	スティグマと精神保健(第７章第３節･第８章第６節)	精神保健における偏見・差別、セルフヘルプグループと地域精神保健を課題とした市民団体を理解する。	精神保健の用語、精神障害者に対する偏見形成、偏見や差別を乗越える、セルフヘルプグループとピアサポートグループ、フォーマルな社会資源とインフォーマルな社会資源について考察する。
14	精神保健と国・法規(第８章第１節･第２節)	国の機関とその役割、精神保健に関係する法規を理解する。	法制度の変遷と役割、各機関の役割、精神衛生と地域精神保健、地域精神保健から障害者福祉へ、これからの精神保健活動に向けて、関係法規について考察する。
15	精神保健と連携(第８章第３節・第４節・第５節)	多職種の役割と連携、地域精神保健にかかわる行政機関の役割および連携、学会や啓発団体を理解する。	精神保健福祉活動にかかわる専門職種、多職種の連携、今後の行政機関（国・都道府県・指定都市・市町村）の連携の必要性、学会や啓発団体（当事者会・職能団体・関係団体・その他の団体）について考察する。

■レポート課題

※2 単位めは、1,000 字以上 1,200 字以下で作成してください。

１単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。
２単位め	現代日本における地域精神保健の動向と基本的考え方を踏まえ、地域精神保健における多職種連携について論述しなさい。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

【1 単位めアドバイス】

教科書をよく読み、「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

【2 単位めアドバイス】

教科書（とくに第７章・第８章）・参考書等をよく読み、精神保健福祉士等の精神保健に関わる専門職による多職種の連携・協働について論述してください。

科目修了試験

■評価基準

出題されたテーマについて、的確に理解しているか。